

## 凸版印刷とリーバー、遠隔医療相談アプリ「リーバー」の販売を開始

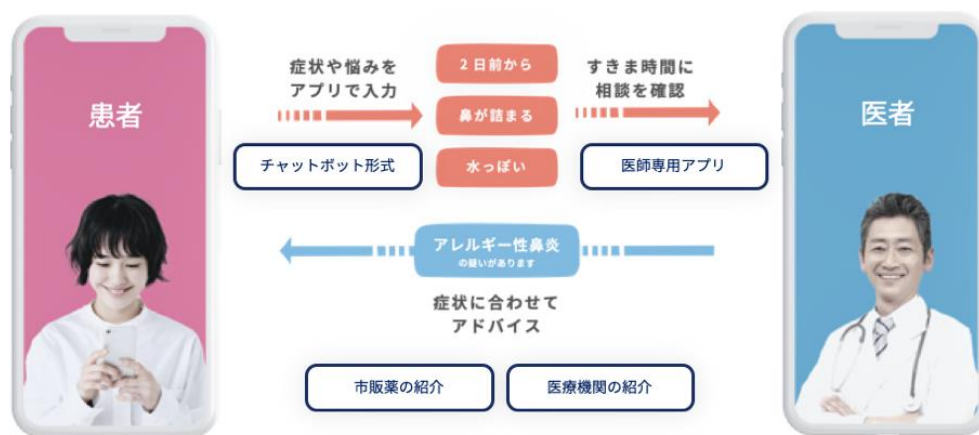
スマホで医師に相談ができるアプリ「リーバー」で  
安全・安心な社会の実現に貢献

凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)と、遠隔医療相談サービスを行う株式会社リーバー(本社:茨城県つくば市、代表取締役 伊藤 俊一郎、以下 リーバー)は、2020年1月に資本業務提携を締結しています。

このたび凸版印刷が、リーバーが運営する医療相談アプリ「リーバー」の販売を開始します。凸版印刷とリーバーは、法人/自治体における医療相談アプリの活用を共同で推進することで、従業員/住民の健康不安軽減を目指します。

凸版印刷は、これまで培ってきた強固なセキュリティ基盤やバックオフィス業務のノウハウを活かし、全国の自治体向けに公共サービスにおける業務効率化・デジタル化を支援してきました。今回、医療相談アプリ「リーバー」を自治体向けのサービスラインアップに加えることで、凸版印刷はヘルスケア領域における自治体の課題解決をさらに支援していきます。

なお、正式販売開始に先立ち、北海道新篠津村(しんしのつむら)で「リーバー」の導入が決定。2021年6月より利用を開始しています。



医療相談アプリ「リーバー」

### ■ 医療相談アプリ「リーバー」について

24時間365日スマホで医師に医療相談ができるアプリです。現在300人以上の医師が登録されており、外出自粛等により病院に行きにくい方もアプリを通じて、医師に気軽に相談することができます。

一般向け医療相談アプリ「リーバー」に加えて、教育機関に毎日の検温結果と体調、出欠席の報告ができる「LEBER for School」(6カ国語対応)、企業向けに検温・体調報告とストレスチェックを組み合わせられる「LEBER for Business」(5カ国語対応)も全国で導入が進められています。

### ■ 今後の目標

凸版印刷とリーバーは、凸版印刷の全国の営業ネットワークを活かし、2022年度までに10自治体への販売を目指すとともに、凸版印刷が提供するヘルスケア関連サービスとの連携など、新たなサービスの開発を進めていきます。

## ■ 株式会社リーバーについて

会社名：株式会社リーバー

所在地：茨城県つくば市高野 1155-2

代表者：伊藤俊一郎

設立：2017年2月

URL：<https://www.leber.jp>

事業内容：アプリの企画・開発・運営

\* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各者の商標または登録商標です。

\* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上